

科目名	日本史探究	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間
-----	-------	-----	------	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日本史上の様々な事象について、地理的条件や世界史と関係させながら総合的・多角的に理解するとともに、種々の資料から日本史に関する様々な情報を適切に読み解き、効果的に調べまとめる技能を身に付ける。【知識・技能】</p> <p>(2) 日本史上に展開される様々な事象について、その歴史的な意味やそれに関わる文化的特色などを、時間的あるいは空間的(地域的)な差異に着目し、広い視野や角度で考察する力を身に付ける。また、現在の社会問題などを歴史的な視点で捉え、解決策を構想する力や、それを議論したり発表したりする力を身に付ける。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 日本史上の様々な事象に関連させながら、現代社会の一員として、様々な社会問題の解決に向け主体的に取り組む姿勢を身に付ける。それと同時に、日本の文化に対する造詣を深めることで、他国や他の地域の文化や社会を尊重する態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】</p>
使用教科書・副教材等	<p>教科書 日本史探究「詳説日本史」 山川出版 日本史用語集 山川出版</p> <p>図説 最新日本史図表 第一学習社</p> <p>問題集 日本史の整理と演習 とうほう</p>

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
第1学期	導入 歴史の扉	4	学習方法、探究活動の進め方、課題、評価の仕方についての指導。	28
	第1部 原始・古代	5	第1部 原始・古代 初期の日本の文化がどのようなものであったか、また、その文化的特徴が、どのような政治的・社会的背景のもとに形づくられたのかについて、課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。	
	第1章 日本のあけぼの	6	ア 旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代ごとの政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的な事象についての知識を深める。 【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ 上記時代ごとの政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的な事象について、自ら問いを立て、それについて思考する力をつける。また、自ら導き出した考えを他者に伝える力を養う。 【思考力・判断力・表現力】 エ 原始および古代史に関する課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】	
	第2章 古墳とヤマト政権			
	第3章 律令国家の形成			
【知識・技能】 ①定期考査(80%)…考査問題の中で人物名などの用語や事柄の前後関係など、基本的な知識について扱う部分を評価の対象とする。 ②課題プリント(20%)…資料から情報を読み取り、まとめる課題プリントを課し、内容や提出状況を評価の対象とする。				
【思考・判断・表現】 ①定期考査(60%)…考査問題の中で、歴史的な事柄の背景や影響などについて考察・論述する問題や、複数の資料から考察したり判断したりする問題を課し評価の対象とする。 ②プレゼンテーション(40%)…歴史的な事柄の背景や影響について考察し、発表する活動を評価の対象とする。				
【主体的に学習に取り組む態度】 ①自己評価(20%)…学期末に行う授業に対する取り組みについての自己評価を評価の対象とする。 ②課題プリント(40%)…課題プリントの内容や提出状況を評価の対象とする。 ③プレゼンテーションの相互評価(40%)…発表活動の内容やその際の相互評価を評価の対象とする。				

【1学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。				
学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
第2学期	第I部 原始・古代 第4章 貴族政治の展開	7	平安時代の貴族社会が、どのように武家社会に変化していったのかを、政治的、文化的事象と関連付け理解を深めていく。	30
	第II部 中世 第5章 院政と武士の躍進	8	ア 平安時代の政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的事象についての知識を深める。【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】	
	第6章 武家政権の成立	9	ウ 平安時代の政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的事象について、自ら問いを立て、それについて思考する力をつける。また、自ら導き出した考えを他者に伝える力を養う。【思考力・判断力・表現力】	
	第7章 武家社会の成長	10	エ 平安時代に関する課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】	
		11	第II部 中世 律令制度や貴族社会がどのように変質し、どのような背景と過程をへながら武家社会の成立へのつながるのかを学ぶ。そして、武家社会がどのように発展し、現在の日本の文化の形成につながるのかを考える。 ア 鎌倉時代、室町時代の政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的事象についての知識を深める。【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】 ウ 鎌倉時代および室町時代の政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的事象について、自ら問いを立て、それについて思考する力をつける。また、自ら導き出した考えを他者に伝える力を養う。【思考力・判断力・表現力】 エ 鎌倉時代および室町時代に関する課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】	
【知識・技能】 1学期と同様				
【思考・判断・表現】 1学期と同様				
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様				
【2学期の評価方法】 1学期と同様				
3学期	第III部 近世 第8章 近世の幕開け	12	第III部 中世で成立した武家社会が、近世にいたる過程でどのように発展し、江戸時代の政治制度、社会制度の基盤になったのかを学び、現在の政治や社会にどのような影響を与えたかを考える。	12
	第9章 幕藩体制の成立と展開	1	ア 江戸時代前半の政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的事象についての知識を深める。【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】	
		2	ウ 江戸時代前半の政治・社会・文化を関連付けさせながら、様々な歴史的事象について、自ら問いを立て、それについて思考する力をつける。また、自ら導き出した考えを他者に伝える力を養う。【思考力・判断力・表現力】 エ 江戸時代前半に関する課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】	

【知識・技能】 1学期と同様
【思考・判断・表現】 1学期と同様
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様
【3学期の評価方法】 1学期と同様
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」について点数化したものを合計した上で、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、年間の5段階評定とする。